

からざるなり。

伊犁より天山を通過して、南路に出づる山路には二ツあり。即ち其一は阿克蘇に到るもの、捷徑なりと雖も、險且難、其二は即ち喀喇沙爾に通づるもの、迂なりと雖も比較的容易なり。因て予は其二を取る。

木蘇爾達坂山路の  
狀況

聞く阿克蘇に出づる道路は、特克斯河谷より氷嶺を超過す。是を木蘇爾達坂（回語の氷嶺）山路と稱す。該山路最高の地點は、海拔實に一萬八千尺、四時氷雪に掩はれ、一望無限、只見る玻璃酷寒の乾坤を成し。玲瓏なる山坡一起一伏、更に定りたる道あらず、其の至難中の至難處は、噶克察哈爾海臺より塔木哈什臺に達するの間とす。嶺頭陷没して約長さ三里、幅十八九町の氷谷を成せり。四邊固より土沙草木の在るべき筈なく、氷巖重疊巉々空を摩し、轟々雲に聳え處々穴坎を成し、深さ幾何なるを知らず下に浙瀝の聲を發し、人畜險を冒して此處を過ぐるや、缺石塊氷相交り、一步過たば萬事休す。

畜類の或は力竭き、或は巖氷に觸れ、或は暗坎に陥りて、不測の禍に罹りたる、新舊の遺骨死屍は、累々相枕みて、凄絶慘絕、震慄酸鼻に堪へざらしむ。世は廣く、人種亦